

# 府中市教育委員会会議録

## 1 開会の日時

令和6年6月26日（水） 教育センター 会議室  
（令和6年第6回） 13時25分 開会

## 2 出席委員

荻野教育長、和知委員、藤井委員（3人）

## 3 委員以外の出席者

大川教育部長 大森教育政策課長 宮田学校教育課長  
道田教育政策課文化財室長 和田教育政策課教育推進係長

## 4 会議に付した議案の題名

第18号 府中市立図書館協議会委員の委嘱について

第19号 府中市学校給食センター運営協議会委員の任命について

## 5 審議の大要並びに結果の概要

議案2件について審議を行い、同意の議決を得た。

## 6 議決事項

議案第18号 可決 議案第19号 可決

## 7 協議事項

なし

## 8 報告事項

### (1) 荻野教育長

- ・5/30 市町教育委員会連合会定期総会について
- ・6/2 上下運動公園でのシティフットボールクラブの試合開催について
- ・6/8 資料館フェスタについて
- ・6/10 部活動改革推進協議会について
- ・6/14 市内交流研修会について
- ・6/22 上下あやめまつりにについて

(2) 大川部長

- ・令和6年度第1回学力調査結果について
- ・令和6年度第1回府中市市内交流研修会について

(3) 教育政策課

- ・令和6年度教育委員学校訪問について
- ・「公民館を利用される方へ」のHP掲載について
- ・翁座の府中市特定歴史的建造物の登録について
- ・第1回府中市翁座改修専門委員会（6/11）について

(4) 学校教育課

- ・学校の状況等について
- ・夏期休業中における教職員の勤務時間の繰上げ・繰下げについて
- ・児童生徒のけが等にかかる対応について
- ・部活動改革について

9 その他

次回 令和6年7月26日（金）午後1時30分～  
次々回予定は 令和6年8月5日（月）の週で調整

14時25分 終了

会議録署名者 委員

委員

書記

## 教育委員会会議（6回）

教育長 皆さん、こんにちは。

先月、今月と、学校訪問をしていただく中で、いろいろなお気づきのこととか、また各学校に対しての指導、助言もいただきまして、ありがとうございます。今年度はあと2校の訪問を実施する予定でございます。また時間を取って全体を通して、今の子供たちがこのように成長してきているんじゃないかとかですね、共通点などを教えていただければと思っております。

6月の下旬に入ってきました、学校では7月19日が終業式です。あと1か月を切っているという状況ではありますけれども、最近では非常に気温が高いということで、実は2023年7月が過去最高の気温だったと。統計史上一番高かったと言われてるんですけども、今年度もそれを超えるんじゃないかというふうにも言われておりますので、子供たちを含め教育環境の整備というのをもっともっと進めていかないと、よい環境での学習というのが難しい状況になってきているのかなというふうに思っています。

おかげさまで、学校の普通教室、そして特別教室は県内でも先駆けて全ての場所に空調の設置ができておるんですけども、残すところ体育館ということで、こちらの整備というものを早急に進めていきたいなというふうに考えております。

それでは、本日どうぞよろしく願いいたします。

それでは、令和6年第6回の教育委員会会議を開会いたします。

会議録署名者の指名をいたします。和知委員、藤井委員、よろしく願いいたします。

（はいの声）

教育長 それでは、会議録の承認に入りたいと思います。前回の会議について事務局の報告を求めます。

和田係長。

和田係長 令和6年第5回会議について報告いたします。

第5回会議は、令和6年5月29日水曜日、午後1時30分から、教育センター会議室において、教育長、教育委員全員と、大川部長ほか事務局4名の出席で開会いたしました。

議案は3件で、6月市議会定例会に提出される議案について府中市長から意見聴取を求められているものが1件、教育委員会規則の改正が1

件、それから中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の採択基本方針に係るものが1件でした。

まず、6月市議会定例会に提出される議案第15号 府中市職員の特  
殊勤務手当に関する条例の一部改正については、大規模な災害に係る災  
害応急作業等に従事した職員に手当等を支給するため改正を行うもの  
で、内容を確認し、承認いたしました。続いて議案第16号 府中市立  
学校端末通信料等徴収に関する規則の一部改正については、児童及び生  
徒が使用する学習用端末に係る費用の徴収について所要の整備を行う  
もので、こちらについても内容を確認し、可決しました。最後に、議案  
第17号 令和7年度中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教  
科用図書の採択に係る府中市教育委員会における採択基本方針につい  
てですが、採択の内容等を確認し、こちらでも可決いたしております。

協議事項はありませんでした。

報告事項としましては、荻野教育長から、5月9日、10日に開催さ  
れた第74回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会長崎大会  
について報告があったほか、大川教育部長から府中市議会5月臨時会の  
報告、そして教育政策課からは、令和6年度教育委員学校訪問について、  
文化財保護審議委員会会議について、翁座改修専門委員会会議の設置に  
ついて、広島県立博物館企画展示について等、報告がありました。学校  
教育課からは、学校の状況や生徒指導の状況について、府中市子供の学  
び応援基金について等の報告がありました。

追加の報告事項としては、給食の異物混入の第一報について、それか  
ら熱中症対策に伴う予防施策についての報告がありました。

次の開催日程を確認し、会議の全てを午後2時30分に終了してお  
ります。

以上でございます。

教育長 はい。それでは、会議録の承認を求めます。御異議ございませんでし  
ょうか。

(異議なしの声)

教育長 御異議なしと認めます。よって、会議録を承認いたします。

それでは、本日の議案に移ります。

本日の議案は2件で、委員の委嘱そして任命に係るものでございます。

それでは、議事に入ります。

議案第18号 府中市立図書館協議会委員の委嘱についてを議題とい  
たします。提案説明をお願いいたします。

大森課長。

大森課長 はい。それでは、議案第18号 府中市立図書館協議会委員の委嘱について御説明させていただきます。

先に2ページを御覧ください。

議案第18号の提案理由です。委員の任期満了に伴いまして、新たに府中市立図書館協議会委員を委嘱するものでございます。

提案理由として、図書館条例で説明しますと、第8条第2項に「協議会の委員の定数は7名以内とし、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者並びに図書館利用者の中から、教育委員会がこれを委嘱する」とあります。

1ページに戻っていただきまして、今回任期満了に伴ってここに記載しております6名の方が新しい任期として委嘱する委員の方です。新規の方を紹介しますと栗根委員、長谷川委員、清水委員、野津山委員、この4名。高月委員と宗藤委員につきましては再任でございます。

栗根委員につきましては、青少年育成府中市民会議の会長、長谷川委員は府中市立学校校長会の代表、高月委員につきましては、市P連のふれあい委員をされています。清水委員は、福山大学の青木美保先生の後任でございます。また、野津山委員は、読書ボランティアの団体から推薦をいただいているものです。宗藤委員はNPOの代表をされています。また、先ほど委員の定数は7名以内と説明したとおり、ということになっておるんですけども、もう1名は利用者代表ということで、現在もう1名福山大学から推薦をお願いしているところです。推薦しましたら改めて議案で提案させていただきたいと思っております。

以上でございます。

教育長 ただいま、事務局から提案説明がございました。御質疑がありましたらお受けいたします。よろしいでしょうか。

(はいの声)

教育長 それでは、採決をいたします。

原案のとおり可決いたしたいと思えます。御異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声)

教育長 御異議なしと認めます。よって、本件を可決といたします。

続いて、議案第19号 府中市学校給食センター運営協議会委員の任命についてを議題といたします。

事務局から提案説明をお願いいたします。

大森課長。

大森課長 それでは、議案第19号の説明をさせていただきます。4ページを御覧ください。

提案理由は、委員の異動に伴い、新たに府中市学校給食センター運営協議会委員に任命するものでございます。これは任期満了ではなく、異動に伴う残任期間の任命でございます。

府中市学校給食センター運営協議会の設置の表記を見ていただきますと、提案理由として第2項で「協議会は、委員7人以内をもって組織し、その委員は、学校長、PTA会長、府中市を管轄する保健所の代表者及び学識経験者の中から教育委員会が任命する」とあります。

3ページを御覧ください。

この3名の方が残任期間の候補者でございます。上から、原田委員、広島県東部保健所福山支所保健課長でございます。続いて、小林委員、府中市PTA連合会からの御推薦で府中明郷学園のPTA会長です。最後に、小川委員、同じく市P連からの推薦で、第一中学校のPTA会長でございます。

5ページをお願いしたいと思います。

府中市学校給食センター運営協議会全員の委員のお名前でございます。先ほど説明したとおり、協議会は委員7人以内をもって組織するという事で、6名の委員構成としております。上から原田委員、新任。続いて、渡部校長、府中学園校長、再任。高森校長、上下南小学校校長、再任。長谷川校長、国府小学校校長、新任。小林委員、府中明郷学園PTA会長、新任。小川委員、第一中学校のPTA会長、新任。でございます。現在の任期は令和5年11月1日～令和7年10月31日でございます。

以上でございます。

教育長 ただいま、事務局から提案説明がございましたけれども、御質疑がありましたらお受けいたします。いかがでしょうか。

(なしの声)

教育長 それでは、採決をいたします。

原案のとおり可決いたしたいと思っております。御異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声)

教育長 御異議なしと認めます。よって、本議案を可決いたします。

続いて、協議、報告事項に入ります。

委員の皆様から、協議事項について何かございますでしょうか。

(なしの声)

それでは、報告事項に移りたいと思います。

まず、私から報告をさせていただきます。本日は前回、5月末から今日に至るまでの教育長日程の中で、特に対外的に出向いた業務などを中心に報告をさせていただきたいと思います。

5月30日、広島市で開催された市町教育委員会連合会の定期総会に出席してまいりました。これは各教育委員会の教育長及び教育委員の方が出席をするもので、年2回行われまして、1回は研修会が例年行われているものでございます。今回は定期総会ということで、定期総会の中では事業計画、また事業予算についての審議が行われました。令和4年、令和5年と、府中市がこの市町教育委員会連合会の理事を担っておりましたけれども、今回の定期総会でその役目を終えまして、令和6年、令和7年、また新体制でスタートいたしております。

今後の予定でございますけれども、来年、令和7年については、定期総会の開催、開催場所は広島市になりますけれども、定期総会の議長を府中市が担うということが確認されたところでございます。また、令和10年、令和11年は、府中市が市町教育委員会連合会の会長になるということが今回の連合会の定期総会で確認されたところです。

続いて6月2日、福山シティフットボールクラブ、これは今、中国リーグに所属しているサッカーチームでございますけれども、こちらが上下運動公園で試合を開催されました。教育委員会との連携の中で、この大会を「府中DAY」と位置づけられ、府中市を会場に大会が行われまして、オープニングでは上下北小学校、そして上下南小学校の児童が選手と一緒にグラウンドに出て、大会を盛り上げたところです。

このイベント開催の一環で、5月の中下旬から、府中市の全ての学校の挨拶運動に福山シティフットボールクラブの選手の皆さんが来てくださり、各学校の挨拶運動だけでなく、各学校の教育活動にも積極的に参加していただきました。その成果もあって、当日は子供たちの参加も非常に多く、また上下高校生も運営スタッフとしての活動が展開されておりました。

我々の教育行政の業務においても、今回の企業活動から学ぶことが多くありまして、今年度の「府中学びフェスタ」においても、現在計画中でございますけれども、来ていただく講師の方に事前に学校訪問をしていただくなり、そういう連携を模索していきたいなというふうに考えて

おります。

続いて、6月8日では、府中市歴史民俗資料館で資料館フェスタを開催いたしました。今回のテーマとして「古代体験」を打ち出し、染め物体験を行ったわけでございますけれども、市制70周年を記念いたしまして、「古希」と掛け合わせて新色として紫色が初めて登場したところでございます。また、これまで国府衣装体験などを行ってきましてけれども、今回中世の衣装体験が加わって、充実した資料館フェスタになったのではないかなというふうに考えております。

また、6月10日でございますけれども、本市の学校部活動を改革するための組織として、「部活動改革推進協議会」が立ち上がりました。この推進協議会では、市議会の議員、また企業、学校、PTA、地域の方など多くの関係者の協力を得て、地域の子供たちの教育活動、部活動は地域で支えていくという方向性を持ってですね、スポーツ部門の部活動、そして文化・芸術の部活動、これらの府中市の地域連携、地域移行モデルの構築に向けて進めていくと、そういう方向性を持ってスタートさせたところでございます。

続いて、6月14日には、国府小学校で市内の教職員が一堂に会して、交流研修会を開催しました。これは、昨年度より府中市で一斉学力調査、そして「i-check」と呼ばれる心の状況調査を実施する中で、よりきめ細やかな児童生徒の学習状況や心の状況把握を行いまして、教科指導そして生徒指導に生かすためのものであります。一斉学力調査については、各個人、児童生徒個人が自分自身の状況を可視化できるだけではなくて、この市内の交流研修で各学年また各教科でグループ別の協議を行いまして、分析レポートの作成を行いまして、教育委員会や各学校のホームページにその成果をアップしていくということで、保護者や地域の皆様への積極的な情報発信につなげていきたいというふうに考えております。

一斉学力調査の今年度第1回の状況については、後ほど大川教育部長から報告をいただく予定でございます。

続いて、6月22日には、上下の四季の里で「第49回上下あやめまつり」に、私も参加させていただきました。このお祭の中では、上下中学校の吹奏楽部の生徒による演奏が行われまして、例年になく楽器の紹介であるとか子供たちが考えたような内容がふんだんに出てくる、非常に生徒が積極的に挑戦する姿というのを見ることができました。

上下中学校は、今年度の学校教育目標に「挑戦を楽しむ」ということ

をテーマとして、まさにその姿を見ることができたのではないかなと感じております。その後にはですね、上下南小学校の児童による「あやめ太鼓」の披露がありました。案内の中では、約30年続いているというこの太鼓ですけれども、児童の保護者の世代から続くものであります。毎年児童数が減少していく中で、今年度からはこれまで5、6年生だったのが、4年生も加わり、4、5、6年生による演奏でございました。今年度、初めての演奏ということでしたけれども、10分近くの演奏を児童の皆さんがしっかりと演奏をされて、ふだん地域の方、また教職員の指導が本当にしっかりできてるなっていうのを改めて感じたところでございます。

私からの報告は以上でございます。

続いて、事務局から報告をお願いいたします。

はい、大川部長。

大川部長 それでは、私から府中市一斉学力調査の結果等について、御説明をさせていただきます。

資料のほう、クロームブックとまた正面の画面にも投影しますので、どちらか見やすいほうを御覧ください。

まず、令和6年度第1回一斉学力調査を、4月18～23日の間に実施をいたしました。調査結果に、特段大きな課題等はございませんでしたが、それまでの成果と課題が見てとれます。

資料は、小学校が1～4ページ、中学校が5～11ページに分けて記載をしております。

まずは小学校及び義務教育学校前期課程ですが、2、3年生までの調査教科は、国語、算数の2教科です。4～6年生までは、国語、算数、理科の3教科となっています。1年生は入学したばかりということがありますので、今回の第1回はございませんでした。1、2年生は、理科ではなく生活科のため、理科の調査そのものがございません。また、中学校及び義務教育学校後期課程の調査教科は、国語、社会、数学、理科、英語の5教科となっています。

それでは、資料の1ページを御覧ください。

上段に国語と算数の結果、小学校2～6年生までの推移が分かるようになっていきます。小さいひし形のマークがあると思うんですけど、このひし形のマークが全国値です。棒グラフ2、3、4、5、6となっているのが府中市の平均正答率となっていますので、このひし形とこの棒グラフを比べて、ここが全国より高い、低いというところが分かります。

また、標準スコアという視点が導入されており、標準スコアというのは全国の正答率を50とした場合の換算値で、この真ん中の50のラインを境に、棒グラフが上に出ていれば相対的に良好である。また、下に出ていれば課題があるといったことを示しております。ですから、小学校2年生の国語、また算数の小学校2年生、4年生は、標準スコアを大きく上回っている状況になっています。

それでは中学校です。5ページを御覧ください。

こちらには中学校1～3年生の国語、社会、数学、理科、英語の順に、ひし形の印が全国平均正答率、棒グラフが府中市の平均正答率を表したものです。また、下のグラフには、先ほどの標準スコアが示されています。

1年生の標準スコアを見ますと、国語が1.1ポイント上回っています。数学も1.1ポイント、理科も0.1ポイント、英語も1.5ポイント上回っています。社会がマイナス8ポイントとなっております。2年生は標準スコアが全てマイナスとなっています。特に、社会の3.5ポイント、理科の2.6ポイントに着目し、2年生全体にこれから対応が必要な状況であるととらえております。次に3年生の標準スコアですが、社会がマイナス1.1ポイント以外は、全てプラスの状況です。国語の0.7ポイントであるとか、英語が0.9ポイントプラスとなっております。

棒グラフを見ていただいて、1年生と3年生はおおむね全国標準値を上回り、良好な状況、状態であるということは全体として見られるところであります。

これらの結果を基に、6月14日金曜日、府中市内教職員が一堂に会して第1回府中市内交流研修会を行いました。もう一つの資料を見ていただいて、グループ別研修。グループ分けはこの表のとおりです。小学校は学年別、中学校は国語、社会、数学、理科、英語、音楽、美術、技術、体育、保健の教科別、プラス要録会、要録会は主に総合質問紙調査の分析等を行いました。全14グループに分かれて協議し、今後の取組について協議をいたしました。

こういった内容の協議をしているというのは次のページを御覧いただくと、例えば小学校5年生グループで、今回第一回の調査結果を受けて、日々の授業の中でこれだけは統一してやっというこを、国語、算数、理科それぞれの成果と課題をまとめて、「これから私たち5年生のグループは、この3つをやっていきます」ということでポイントを

絞っています。既習内容の復習は楽しく、何度もやり方を工夫して行いますであるとか、説明する力をつけるために目的を明確にし、いろいろな説明の仕方を紹介し、児童に実際に説明、対応をさせる。あるいは、その時間だけ、その教科だけの学びをせず、生活体験や他教科の学習とつなぐことを意識して指導するという3点をまとめております。

中学校でいいますと、数学部会ですが、こちらも中1、中2、中3で、特に課題というか、全国の平均から低い評価が見られた中2については、1次関数の問いで表を式にする練習を行うとか、日々の授業の中で実際に具体的に取り組めるポイント等を話し合っまとめております。

府中市学力調査、本事業は昨年度からスタートしてみてもの効果とか状況変化ですが、まず学力調査につきましては、今まで府中市立学校の児童生徒の学力についてというのは、すごく漠然と把握されているような状況で、例えば中3と小6とか、そういった抽出の学年だったんですけども、府中市内で統一した一斉学力調査を実施することで、府中市立学校の児童生徒の実態を把握することができ、具体的な課題解決に向けた取組を全校で共有することができるようになりました。

また、児童生徒にとっても、学力調査を全学年で市内共通して実施することで、自分の学習成長を可視化して確認する環境が整いました。また。調査結果を基に、担任と面談等も行っています。

もう一つの「i-check」についてですが、今まで可視化しにくかったクラス内の人間関係やいじめの実態、また悩み等に対応しやすくなった面とが見られるとともに、「i-check」だけに頼るのも危険なため、日頃の教職員の情報共有の徹底を意識するようになってきています。また、市内の学校でも、特別活動や集団づくりに応じた取組みが大変増えてまいりました。

3点目の教職員研修についてです。現状、市内の学校では、学年が1クラス規模の学級が多い傾向にあります。府中市内の交流研修を開催することで学校の壁を越えた課題解決に向けた協議、相談体制ができつつあります。また、授業改善や生徒指導にも生かし、児童生徒の学力向上を目指す体制が整ってまいりました。

交流研修の中で、若手の教員の中から「自分自身も教師としての経験は浅いんだけど、学校の中にいるだけだったら不安があったんだけど、こういった交流研修の場で様々な先生方の御意見を聞くことができ大変勉強になったんだ」という声も届いております。

まだ、第1回が済んだ状況ではあるんですけども、今後に向けてさらに交流研修で行った議論とか課題分析を、日々の授業につなげる必要があるというふうに思います。また、教職員の授業力の向上、それから児童生徒の理解、ひいては子供1人1人の学力また学習意欲の向上につなげていきたいというふうに考えております。

報告は以上です。

教育長 続いてありますでしょうか。

はい、和田係長。

和田係長 教育政策課からですけれども、まず令和6年度教育委員学校訪問について御説明させていただきます。

資料1～2をご覧ください。先ほど教育長の御挨拶でもありましたけれども、現在10校中8校の学校訪問を実施しております。あと2校、南小学校と府中明郷学園は、7月8日月曜日に訪問する予定でありますので、日程を御確認いただければと思います。

学校訪問していただいて、教育委員さんから個別に御意見等をいただいておりますので、次回の教育委員会会議で、今回の学校訪問全体を通しての評価や状況について教育委員の皆様の交流の機会を設定したいと考えております。今年度の学校訪問の総括をさせていただきながら、今後の教育施策の推進と学校との連携といったところに生かしていければと考えています。よろしく願いいたします。

教育長 はい、大森課長。

大森課長 続きまして、資料2を御覧ください。

資料2は「府中市の公民館を使用される方へ」というタイトルのもと、改めて公民館での使用の制限だとか使用上の注意事項について、ホームページに掲載していきたいと思っております。その注意事項の中に、「館内での飲酒は禁止です。また、酒気を帯びての入館もお断りします」といったないように記載しております。公民館は社会教育施設であることの再確認を伝えていく中で、改めて飲酒の禁止、飲酒を控えていただくということを議論してきたところです。全体において、公民館の使用上の注意を改めてお知らせするというところでございます。

以上です。

教育長 はい、道田室長。

道田室長 文化財室より2点報告をさせていただきます。

2点いずれも、前回の教育委員会会議において関連事項として報告させていただいたものになりますけれども、1つ目は翁座です。翁座につ

いては、府中市特定歴史的建造物の登録の申請があったということを前回お知らせしましたが、このことについて、6月6日付で告示されましたという報告でございます。翁座については改正文化財保護条例のもとで、建築基準の適用除外を受けて改修工事をさせていくというものにひもづくものでございます。

2点目でございますが、こちらは関連として第1回府中市翁座改修専門委員会会議が6月11日に行われましたという報告でございます。議論の内容、会議の議論に枢要なもの2点ございまして、1つ目は歴史的な建造物で木造建造物でございますので、耐震性能をどう考えていくかというところ、これは現在構造計算をされる会社が調査をしているので、今後どういったところが弱いのかということ調べている状況です。それから2点目としては、防災計画。つまり、活用していく上において、多くのお客さんが入ったときに火事が起こった場合、どのように安全性を担保していくのかということにおいて、防災計画を作成するために避難の安全検証が必要であるという御意見をいただいております。これにつきましては、まだ改修工事が始まらないんですが、今後10月17日に中村座の歌舞伎公演が行われますが、そのときにお客様に入場いただいた状況で、もし火災が起こった場合を想定した事前の検証が必要であるということです。実際に人を入れてどうしたところに問題点が出てくるのかという課題点を専門家の方も含めて整理していきたいというところで、今、観光課を中心に調整を行っているところでございます。

以上でございます。

教育長           ここまでの中で何か、報告について御質問等ございますでしょうか。

藤井委員       このちょっと前の学力調査・市内研修について、上下中にお住まいになって、今日午後は研修のために4時間で終わりなんだなと、忙しそうだなっていうふうに思ったんですけど、でも今のお話を聞いてたら学力の向上だけじゃなくて、集まることで同じ学年や同じ教科を担当する人たちの交流の場になったんだなというのがよかったのかなと思います。学力をつけないと、いろんなことに取り組んでいるのもやっぱり学力をつけるためだし、不登校の子たちの要因の中にも学力というのはとても大きくウエートを占めてると思うし、様々な生徒指導上の問題も学力がついてないということが関わってるんじゃないかなと思うので、テストで測る学力だけではもちろんないと思いますけど、やっぱりつけてはいけないといけない学力だから、今後も大事に調査結果を生かして取組を進めていってもらいたいなと思いますし、先生方の交流になったの

はよかったのかなと思いました。昔は市教研に学年部会というのがあって、教科部会はずっと今もありますけど、昔は学年部会にも並行して入って、年に1回はどこかの学校がその学年部会の研究大会の会場になって、1日そこで授業研とか自分がやったことをレポートにして持ち寄って協議する部会がありました。ただそのときもやっぱり同じ学年の人の授業を見ることがあんまりないからすごい刺激にもなったし、言ってみれば学級経営も透けて見えるというか、こういう学級づくりをしてその中で子供がこんなふうに発言したり考えたりしてるんだけど、どうやってされたんだろうかなってというような、先輩の実践を見たりすると、どうやって取り組んだらこんな授業になるんだろうと考え込むような機会があったりして、物すごくしんどいけど刺激にはなるってというようなことがありました。こういうパターンで交流ができて、それを学校へ帰ってからどれだけ実践するかが大事だとは思いますが、ホームページで、各学校のを閲覧して、去年の全国学力はどうだったのかなとかって見ると、小学校、平均ぐらいいかなって思いますけど、中学校が数学、英語、ちょっとしんどかったかなって思います。長年の課題ではあるんですけど、中学校の学力を上げていくことが、課題のような気がするんですけど、府中市全体でそういう機運が高まり、学力アップしていきたいという感じになればいいなと思います。

上下中に行っても上下中の授業を見ることがないんですけど、何か工夫をいろいろしておられ、さよならドリルみたいな時間が授業時間の中にあたり、聞こえてくる放送の中に基本的な生徒指導のこう、これだけは上下中生としてやろうやみたいなのを取り組んでおられるのかなって感じがしました。その前の年は、学力調査の結果が大変厳しかったと語られて、校長先生と教務主任が頭を抱えておられた感じもあったのですが、1年たって行ってみたら、1日の1時間目が何時って書いてある週日程がありますよね。あれの中に学力向上の取組を工夫されて、放送を聞いて何か徹底しておられるんだとか、小さなことを徹底して生徒の学習の構えを変えていこうとしておられるのかなというのが見えるような気がしたので、結果につながっていったらいいなと思いました。

教育長

今は学年、中学校は教科別になってますけど、先ほど御紹介いただいた市教研というのもだんだん形も変わってきていて、先生方の勤務の在り方も様々になってきている中で、それはそれで充実していくっていうことはあってもいいかなというふうに思っています。本日部長から大き

く「点数」っていう観点で今日は報告をいただきましたけれども、これまでやはり各学校の中で完結していた授業改善についても、1つの同じ問題を、1問1問どういう視点でどういうところがどのように解けてないかっていうところまでの分析ができる仕組みになっているので、学年であったりとか学校全体であったりとか、もっと言えば府中市全体の中でどういう部分が成果としてあるのか課題としてあるのかっていうのも随分分かってきています。それを今、1学年1学級規模の学校が多い中で、全く同じ学年で同じ進捗で進めている先生たちとの交流っていうのは、先生方にとってはすごい心強いですし、実際どういうアプローチをして改善していくのかっていうアイデアを共有できるっていう意味では、こういうふうに集まって行えるっていうのは非常に利点かなと思いますし、実際この交流研修会でも、冒頭挨拶で申し上げたんですけど、この研修会だけで完結するわけじゃなくて、やはり日頃から連携が取れるような横のつながりもぜひ持ってもらいたいなと思いますし、もっと言えばそれで自主的に研修できるぐらいのそういう形もできると、もっともっと授業改善が加速していくのではないかなというふうに感じたところです。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

はい、大川部長。

大川部長 先ほどの教員の交流会において、グループ別研修をしたときにある教諭が話しになったんですけど、この問題を解くにはどうしたらいいかっていう話題と併せて、本当に先生漢字って授業中どこで教えてますかとか、何かもう筆順とか子供たちが全然覚えてないんだけどもってというような質問を若い先生がベテランの先生にしたりとかっていう、テストの結果改善を考えるだけじゃない日々の授業実践の交流ができていたりして、本当に雰囲気がいいなと思ってさせていただきました。おそらく小さい学校だったら、互いに忙しいベテランの先生にちょっと聞きにくいとか何かね、こんなこと聞いていいのかなと思うようなことも自然に話ができているので、かつての市教研の交流みたいなことが生かされてるんだなという場面を見させていただきました。

藤井委員 そうですね。若い先生って、どうやって教えるか。担任で思い出しましたが、番号を見てると新出漢字を家で書いてくる年もあったんですよ。家ではなくて、これは学校で教えるんじゃないのかって思うけど、誰も言わないのかなって思うけど、きっとそんな事例が日常の中に紛れ込んでいて、誰もそんなとこまで注意を払う余裕がないんだろうなと思

うんですよ。だから、今の漢字はどこで教えてますかみたいな。

大川部長 本当、そういうことが疑問だと思います。

藤井委員 どんなふうにしてるの。学校でみんなでこうやって空書きするんじゃないとかって思ったりしたけど、今は時間がないからそれがもうできないのかなとか思ったりして。でも、中学校だったらもうしないのかって思ったり、いつまでするのかとか。でも、交流できたらいいですよ。

教育長 続いて、報告事項の続きをお願いします。

宮田課長。

宮田課長 学校教育課です。

先ほどの学力テストについても、中学校の教科担任からしたときには1人で中学校の全学年、その教科を教えている場合、その結果が自分の教えてる結果にもなっているなっていうところは、やっぱり厳しく自分自身として受け止めないといけないことだなと思うんです。ただ、それがその先生だけで終わるのではなくて、全体で協議することによって、こういうことが足りなかったのかという新たな発見につながっていくことが、教科別の部会の良さであると捉えます。そこに新たな問題があって、同じ教科の先生がいて、こうしていこうとかいうふうなことを受け継ぐこともなかなか難しくなっています。藤井委員が指摘されたふだんのオンザジョブで難しくなっているところを、こういった交流を通して自分に足りなかったことの発見といった、先生方の本当の学びの場になっていけばいいなと。第2回までにそれをしっかりと改善して、次の結果につなげることができたらと考えています。だから、悪い結果も悪い結果も公表していくという府中市の方針というのは、先生方の人材育成につながっていくこと、先生方がしっかりと指導力をつけていくことを通して、学んでいく子供たちの学力をつけていくことになっていくんだろうと、厳しくご指摘いただいたと捉えています。

3か月が過ぎて、もう中学校では期末試験が始まって、夏休みが目の前ということになるんですが、府中市の小中一貫教育とか義務教育学校、コミュニティ・スクール、本当に多くの方に視察に来ていただいています。本日も兵庫県たつの市から府中学園、府中明郷学園に行かれたり、先日も米子市から大型バスで来られたりとか、それも地域の方々が増えていて、それだけ注目されてるっていうことは光栄に思うことだと受けとめています。

教育長からお話もありましたように、7月19日が1学期の終業式で夏休みに入って、8月26日月曜日から2学期のスタートという形にな

っています。本年度、府中市立学校の一斉閉庁ですが、例年は8月13、14、15の3日間、これは県立学校に準じて行っております。16日金曜日をどう扱うかなっていうところもありまして、各学校の校長先生に学校の状況を聞く中で、今年度は8月13日、火曜日から16日の金曜日までの4日間を一斉閉庁という形にさせていただこうということになりました。その間の対応等は市教委で受けるというふうにしております。

資料に移らせてください。5月までの生徒指導上の諸問題についてですが、5月の状況を資料3で説明します。暴力行為が2件、いじめが3件、不登校が12件というふうにご報告します。昨年度と比べると減少傾向にあるというところで、おおむね落ち着いたスタートになっているのではないかと思います。不登校は5月に初めて上がってくる数字となります。12人というのは、やはり今年度で増えた数字ですので、昨年度から不登校が継続している子供がいるということになります。今もほとんど登校できてないという状況がそこにあるということになります。また、夏休みも、子供との連携とかいろいろな行事ごとに絡めて登校へのきっかけか、様々な方法で子供たちを社会とつなぎ、前に出していくというふうな方法を取っていきたいというふうに思っています。

次の資料ですね。広島県教育委員会からの通知を資料4からつけております。県立学校職員の勤務時間の繰上げ・繰下げというものについてです。繰上げ・繰下げに関する基準というところですね。これは3月の下旬に県立学校のほうで、勤務時間の先生方の繰上げ・繰下げをやりまますよというふうな通知が来ました。5月の通知には各市町でも格段の配慮をしてくださいというふうなところがあって、これは先生方のライフスタイルやワークスタイルに合わせての勤務状況をつくっていくということで、夏期休業中、子供が学校に来ない間に各市町の実態に応じてやってくださいということになります。府中市としましては、やらない理由がないと。様々な配慮事項はあるんですがやっぺいこうということで、各学校へ訪問させていただいて、校長先生、管理職としての不安なこととかサービス管理だとか鍵の管理だとかですね、やっぱり安全面とかいうふうなところを聞いた上で、7月2日の校長研修会で正式に目指していこうということですが、全ての学校でお聞きしたところ、実施していこうという方向で進めているところです。

夏休みは、おおむね5週間あるんですけど、夏期休業中、1週間ぐらいつつと、校長がお休みを取られるので実質4週間の間で、最大1時間

30分の繰上げと繰下げが可能になったということになります。8時15分がスタートの学校は、1時間半繰り上げたら6時45分から出勤して、終わりが15時15分となってきます。早くから来て早く帰るとい、勤務時間を前にぐっと繰上げができるということになり、これは校長の承認事項なので、確実に承認を受けてということになります。だから、校内研修の日程等は、あらかじめ職員に知らせて、その日は繰上げ・繰下げを入れないようにというふうな、学校運営に支障がない状況でやっていくということにしております。また、安全面を考えたときに、もし遅く残る場合があったときには、1人で残すようなことはしないとか、管理職がつかなくてもいいというふうに示されてあるんですが、管理職としては困ることもあるので、初めのうちは朝先生に合わせて出勤して、そのときには管理職も終わりが早く上がるんでというふうなところで、管理職だけがしんどい思いをするようなことにはならないように対応していきたいと思っています。仮に夏休み中に夕方から後ろの会議があるときには、それに参加する先生はその時間に合わせて出てといったことを、うまく有効に使える方法かなというふうにも思っております。今年やってみて、また成果と課題等も改善しながらやっていくということで、今年から取り上げる先生方の勤務時間の繰下げについてお知りおきください。

次に参ります。児童生徒のけが等に係る対応についてです。先日来、廿日市市での部活中に接触があって頭を打ったという報道について、やはり学校の校長先生方は学校としてどのように対応すればよいのだろうと。救急対応をするときにも出血があるかないかとか様々なことがあるんだけど、これから今年どのようにしていくかっていうところを校長研修会の中で学校がやるべきことやできることについて、校長の思いとか必ずやっぺいこうというところを再確認していこうと思います。学校にできる判断の限界があるという思いも持たれているようです。特に頭部へのけがであるとか熱中症であるとか、あと心臓系に関わる異常やトラブルについては、必ず医療連携を即座にしていくといったところを確認していく方向で指導します。

最後になります。チラシを1枚資料につけています。「部活動指導者人材バンク登録者募集」というものです。今日のちょうどお昼のNHKニュースで、地域移行という話題で特集されてもおりますが、そういう動きが全国的に進んでいます。本市では、6月10日に第1回府中市部活動改革推進協議会を立ち上げさせていただきました。委員のそれぞれ

がご自身の経験の中で体験してきた部活動に対する思い等を出す中で、  
どういうふうにしていけば課題解決につながるのかということ进行交流  
していきます。今後、継続してこの推進協議会を開催し、府中市として  
の部活動の在り方を検討していくこととしております。

このチラシそのものは、部活動指導者等の人材バンク登録ということ  
になっておりますが、これから登録者と部活動とのマッチングをしてい  
く予定です。子供たちの指導をしていただくということなので、昨今の  
おいせつ事案等をはじめ様々な問題もあります。そこはしっかりと面談  
等をした上で、適任者を配置していけるよう進めていきたいと思ってい  
ます。

私からは以上でございます。

教育長

ここで御質問はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、全体を通して何か報告事項がありましたら御発言をお願い  
いたします。

和田係長。

和田係長

それでは、次回の教育委員会会議の日程です。7月26日金曜日、午  
後1時半から開催する予定にしております。8月ですけれども、8月5  
日の週の中で調整をさせていただこうと思っております。というのが、  
教科書採択の関係がございますので、予定を組ませていただきながら調  
整しますので、後日確認させていただきます。

最後に1つ、明日6月27日ですけれども、全国的な協議会の中で市  
町の教育委員会研究協議会という研修会が予定されており、藤井委員さ  
んと森山委員さんに出席していただく予定になっておりますのでご連  
絡します。研修に参加されての御報告をいただければなと思っておま  
すので、よろしくお願いたします。

以上でございます。

教育長

それでは、以上をもちまして、令和6年第6回教育委員会会議を終了  
いたします。お疲れさまでした。